



議員 大城 誠一

◇小学校にフッ化物洗口を導入

沖縄県保健医療部健康長寿課発行の「健康おきなわ

21) 歯の健康フッ化物物の応用リーフレット」によると「久米島町では、平成3年頃から保育所や幼稚園、小学校でのフッ化物洗口の取り組みが始まり、平成4年に12歳

児の一人平均虫歯経験歯数7.6本だったのが、平成28年には0.5本に改善している。また佐賀県のホームページによると、平成23年度には保育所・幼稚園は273施設、小学校は166校、中学校は30校がフッ化物洗口を実施し、小学校は98.8%実施しており、県を上げて取り組んでいる。同県の12歳児の一人平均虫歯経験歯数は、平成14年度の2.6本から平成27年度には0.6本に改善している。以上のことから、学校におけるフッ化物洗口は虫歯予防活動として効果的であると考えている。当局の見解を伺う。

教育部長 議員のおっしゃる通り、フッ化物洗口は歯の表面に作用して、細菌の作る酸に溶けにくい歯を作ること等、虫歯予防活動に一定の効果があるといわれている。砂糖の摂取回数を減らすことや歯磨きなどと組み合わせると相乗効果でさらに減らす効果がある。

問 フッ化物洗口で子ども一人に対して、いくらの経費が掛かるのか。

教育部長 他市町村のものをざっくり試算した結果、一人当たり年間2000円程度の費用が生じると聞いている。

問 モデル地区学校を決めて実施してはどうか。

教育部長 実施する場合には、年間70万円余りの経費を継続的に確保できるか、歯科医師の指導の下、薬の調合、器具の洗浄、薬

の保管をしっかりとやらなければならない。この辺、養護教諭が中心になると思うが、激務の中、安全管理が行き届くのか懸念される。

- 福社事業について



◇安全・安心なまちづくり

町民の生命、財産を守ることも行政の大事な役割のひとつであると思う。そこで、安全・安心なまちづくりとして、特に

当局が最も力を入れていることは何か。それに要する予算はどれほどか。

総務部長 まちづくり基本条例で掲げる安全で環境に優しい



議員 前里 光信

まちづくりに沿って、安心・安全なまちづくりのため各種施策を展開している。この分野については優先順位をつけるのが難しいので、予算規模が大きいもの上げる。東部消防組合負担金事業が4億8,986万円、道路照明灯などの維持管理などを行う交通安全施設整備事業が1,534万円、子供たちの通学路の

安全確保のためのブロック塀等安全対策事業が小、中、幼稚園合わせて1,900万円となっている。また、交通安全防犯対策事業や沖縄観光防犯強化支援事業費補助金を活用して整備予定の避難所、備蓄や多言語化に対応した観光防災マップの作成にも力を入れていく考えである。

大学による理科支援事業については、今年で11年目を迎えた。理科支援の目的は、児童の理科への興味、関心、意欲を高めることである。同大学の内閣教授をはじめ、3人の先生がかかわっていた。だき、理科の教員と協力して授業を4小学校で年間72時間実施している。その効果として専門的知識を持った大学の先生と一緒に、今後の財政状況等を鑑みながら検討したい。

◇理科教育支援事業について

問 沖縄キリスト教学院大学の西原町立4小学校での理科教育支援事業について、いわゆる教室で実験の指導にかかわった事業が10年を経過したので、教育委員会の評価についてお聞きたい。

教育長 沖縄キリスト教学院

授業を行うことにより児童の知的好奇心が高められた。全国学力学習状況調査で県平均、全国平均を大きく上回っており、教育委員会は今後も継続する。

- 西原町(翁長)で発生した住宅火災
- 国民健康保険特別会計の今後について
- 特定健診について
- 地域包括支援センター事業について
- MICE(マイス)関連事業について



議員 与儀 清

◇学校トイレの洋式化について

問 父母、ごとも等よりトイレの洋式化、美化の要望が多くなるが。

教育部長 御質問のとおり、保護者や学校現場からトイレの洋式化の要望がある。校舎改築によって洋式化が進んでいる学校

もあるが、建築年が古い校舎については和式トイレが多いのが現状である。トイレの洋式化については、必要な改修と考えており、特に女子児童生徒の不便解消のため予算及び改修費用を県と調整し、年次的に洋式トイレへの改修を進め、児童生徒のために少しでも学校施設の環境改善の要望に応えたい。

◇町営「施設型共同墓」について

問 少子化、お年寄りの一人暮らしが増えている今、有料

の町営「施設型共同墓」「納骨堂」の建設も念頭にいれるべきでは。総務部長 公営墓地、納骨堂の必要性は認識しているが、優先順

◇環境問題について

問 西原東小学校裏門側の小那覇川に雑木、雑草が茂って

水の流れにも支障をきたしている。景観上もよろしくない。早急な対応が必要と思われるが。

建設部長 現場を確認したところ、土砂堆積しているところに草が生い茂っていたので、まず草の撤去を進めていきたい。

◇野球、サッカーの施設利用

問 すばらしい施設が2つあるにもかかわらず、本町の小学生、中学生にほとんど利用され

ていない。野球は年間1回だけ、サッカーは4回。月1、2回は無料開放して、利用促進する方法を考えては。

生涯学習課長 町内の学校、部活動等からの借用の相談等があれば、調整を行って、できる限り優先的に利用させたい。利用料については規則等があるので、無料開放というのはまた、調整が必要となってくる。

- シェア農園について
- 教室におけるクーラーの問題
- 火葬場建設の問題